

# 令和8年度概算要求の概要 (労働保険特別会計労災勘定)

資料1

## 令和7年度予算額との比較

(単位: 億円)

区分	令和7年度 予算額	令和8年度 要求額	比較 増△減額
歳 入	12,602	12,978	376
歳 出	11,064	11,182	117

## 令和8年度要求額の主な経費の内訳

### (歳入)

○ 徴収勘定より受入	<b>9,889 (9,591) 億円</b>
・保険料収入見込みの増 (+216億円) 雇用者所得の伸びや有期事業の建設投資の増の見通し を踏まえた見積額	
・繰入未済金の増 (+81億円)	
○ 一般会計より受入	<b>0.1 (0.1) 億円</b>
○ 運用収入	<b>917 (902) 億円</b>
・直近で約定期限を迎える預託金について、再預託に係る預託利率の増	
○ 次年度へ繰越（支払備金等）	<b>1,951 (1,911) 億円</b>
・未経過保険料受入の増 (+14億円) ・支払備金受入の増 (+25億円)	
○ 雜収入	<b>221 (198) 億円</b>
・返納金の増 (+21億円)	

### (歳出)

○ 保険給付費・特別支給金	<b>8,694 (8,639) 億円</b>
・療養補償給付等の短期給付の支給実績を踏まえた増 (+112億円) ・遺族補償給付等の長期給付の支給実績を踏まえた減 (▲91億円) ・特別遺族給付金の支給実績を踏まえた増 (+30億円)	
○ 社会復帰促進等事業費	<b>919 (914) 億円</b>
（未払賃金立替払事業除く）	<b>764 (764) 億円</b>
・働き方改革推進支援助成金の増 (+9億円) ・改正安全衛生法等の施行に係る増 (+10億円) ・相談員等経費の増 (+4億円) ※未払賃金立替払事業、働き方改革推進支援助成金に係る経費は除く ・（独）労働者健康安全機構施設整備費の減 (▲14億円) ・その他執行実績等を踏まえた減 (▲9億円)	
○ 事務費（業務取扱費・施設整備費・徴収勘定への繰入）	<b>1,127 (1,069) 億円</b>
・相談員等経費の増 (+9億円) ※労災・労働保険専門員等 ・労働基準行政システム経費の増 (+7億円) ・労災保険における医療DXの推進（「労災版共通算定モジュール」の開発） (+9億円) ・労働基準行政ウェブサイトシステム開発等経費（e-労基） (+8億円) ・徴収勘定への繰入（事務費相当分）の増 (+7億円)	
○ その他（船員保険関係・徴収勘定への繰入・予備費）	<b>441 (441) 億円</b>
・徴収勘定への繰入（保険料返還金分）の増 (+6億円) ・船員保険関係経費の実績反映による減 (▲7億円)	